



今年も学校連携始まる
港小4年・5年生総合学
「カーミージー探検隊」が始まってから今年で18年目。この間の活動を通して、自然の海と環境問題への関心を高め、埋め立て計画の一部変更、カーミージー橋実現に結びつくなど、学習外に



与えた影響も大きい。港川小の総合学習はいまや「伝統的存在」です。今年も、現地授業を前に事前学習がありました。26日は「カーミージー探検隊」が事前学習。現地を体験する前に地域の人や海の専門家から事前に話を聞く手順も伝統です。自治会も役員が出向き、授業協力しまし



心込めて！公園を花で飾る 草取り、準備作業は子供達も参加

公民館周辺及び上港川の緑地公園での清掃・花木植え作業が行われました＝写真（14日、21日）。市クリーンデー行事の一環。公園花壇は草木も生い茂り、子どもたちも汗をかきながら作業に参加。公民館周辺、駐車場花壇も新しい苗が植え付けられ、道行く人たちの目を楽しませています。



音源コラボで初挑戦！ ～子どもエイサー教室～ 第5回琉球かれん発表会 11日（日）てだこ大ホール



新しい挑戦です。エイサーの踊りに「琉球かれん」の楽器演奏、踊りは子どもたち自身がフリ付けたダンスで。かぎやで風と「パプリカ」を大太鼓、パーランクーを交え披露する。公民館での稽古も実に意欲的（写真）入場無料（午後1時半開場）ぜひ、ご観覧を！

た。5年生の事前学習には銘苅会長ほか3名が参加。4年生の授業では金城副会長が「昔のカーミージーと地域の関わり」など、自身の幼少期からの体験を振り返りながら自然の海の大切さを語りました。現地での観察会は6日・7日実施予定。（上写真は5年生の事前学習 下写真は4年事前学習 右写真は現地下見）



まずは先に学ぼう！
先生方も現地下見
港小4年 カーミージー探検隊

ゆくいだきくちぎと聞話

全回号で「城間字有地」について、戦後の土地制度が大きく変質し「恣意的な選別登記」が行われた、と記した。

戦後の土地制度とは？沖縄戦による破壊と米軍支配、公図公簿喪失。肝心の土地所有者も戦死や未帰還も多い、マイナスからの再出発だった。1947年、限られた人々による土地調査台帳作成。52年、米軍が強引に進めた「土地所有権確定事業」も限られた人材のなかで行われ、申請がなければ「所有者不明土地」として琉球政府（当時）の管理地として処理された。

だが「城間字有地」に関しては、47年台帳では「港川原・城間北宇治真原・東田田原」など限られた調査件数ながら、全て「管理者 浦添村」で記載されている。その事実①一般的な私有地ではない②所有権申請が無い土地は自動的に村管理地となる―と考えるのが世の常識。当時の「城間字有地」関係者も十分認識していた、と理解するのも常識的だろう。本来、登記出来ない「字有地」が「私有地」のように登記できたのはこの「申請」が通ったということが背景。

深刻な問題は「恣意的選別登記」と「村（市）の管理権放棄あるいは行政の怠慢」の方だろう。カーミージーに関しては47年台帳で「管理者 浦添村」として記載されながら「これまで管理もしてないし今後管理しない」というのが更正登記決済の理由だから。2度の権利行使を許す「管理者とは？」台帳記載の理由をはっきりさせるべきである！同質の土地で、昨年「市民の血税」が支払われるケースが、出ているのだから！詳細は次回号で。